



栄小学校だより

さかえっこ

№ 6 令和5年8月30日



ふるさとを愛し心ゆたかにかしこくたくましい子 ひまわりの話

1学期の終業式の約束どおり、今日はみんな元気に登校できました。

きっとすごく楽しい夏休みだったと思います。先生や友だちとたくさんお話ししてください。そして、話したいことと同じくらい聞くことも大事にしましょう。

さて、2学期も 交通安全 校内安全 ひとりになれる ひとつになれる で明るく元気な学校せいかつができるといいですね。

この写真、どこでしょう。すぐわかりましたね。大久保で3年生4年生が育てているひまわりですね。暑い夏の日差しをいっぱい浴びてすくすく育ち、元気な花を咲かせています。



ひまわりは、日本に最初からあった花ではありません。北アメリカ大陸西部が生まれ故郷だと考えられています。日本には17世紀、中国を通って江戸時代の頃入ってきたそうです。

ひまわりは大きな花が一つに見えますが、種を見るとわかる通り、種ひとつにつながり、小さな花が集まって一つの大きな花に見えます。でもふつうはあの大きな花を「ひまわりの花」としています。

ひまわりは、弱った土地を元気づけてくれる力もあります。3・4年生の育てている「ジル」という品種は緑肥用といって、深く根を張り、土をよくする品種だそうです。

ひまわりは人々の心も豊かにしてくれます。ひまわりの絵を好んで描いた芸術家に、有名なオランダのゴッホがいます。ゴッホの残した7点のひまわりの絵が有名ですが、どれも大変貴重な絵として、世界中の注目を集める芸術作品として美術館などで保管されています。

ひまわりは、とても魅力がある花です。花も種も役立ち、人を元気づけたり、勇気づけたり、やる気をくれたり、優しい気持ちにさせたりして、人を集めの力を持つ、スーパー・フラワーではないかと思います。

最後に、ひまわりの名言を紹介します。

"Keep your face to the sunshine and you cannot see the shadows. It's what the sunflowers do."

(太陽に顔を向けていて。そうしたら影は見えない。それがひまわりがやっていることよ)

これは、障がい者の人に希望と勇気を与え、「奇跡の人」と呼ばれた ヘレン・ケラーという人の言葉です。日本にも1937年(昭和12年)にきて、各地で公演を行いました。人を元気づける言葉ですね。

2学期は、一番長い学期です。思いもしない困ったことや心配な事が起きることもあるでしょう。そんな時は、担任の先生、保健室の先生など学校の先生の誰でもいいので、お話ししやすい先生にすぐお話しして解決できるようにしましょう。ひまわりのように、いつも晴れやかな気持ちで過ごせる2学期にしましょう。(終)

【校長：齊藤 隆】

2学期始業式では、上記のような校長講話がありました。夏期休業は、事故やけがなどなく、安全に過ごすことができました。ご家庭、地域での見守り、ご指導ありがとうございました。2学期も変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。

栄小学校ホームページ ぜひご覧ください

随時更新中です。下のURLから、または「栄小学校」で検索してアクセスしてください。
右の二次元コードもご利用できます。

<http://www.dia.janis.or.jp/~sakaesyo-es1/>



【裏面もご覧ください】

いきいき栄っ子～2学期スタートです！～



コミュニティ花壇の草取り



畠の活動



辞書で意味を調べる



2学期スタートの記念写真



収穫したキュウリの味見



水中の生き物の観察



行事

9 / 1	金	避難訓練②
5	火	6年セイジ・オザワ鑑賞
7	木	4年長野見学
12	火	1・2年体験学習
13	水	校長講話
15	金	栄村・栄小中PTA人権講演会
18	月	敬老の日
20	水	集金振替日
23	土	秋分の日
27	水	あおぞら給食



ふるさと学習を推進しています

上の写真は、大久保のひまわり畠です。3・4年生が地域の方と協働で咲かせました。栄小学校では、地域素材を生かした生活科、高校生と共同の栽培活動、ちまきづくり、村の温泉調査など、栄村を知り、栄村を感じ、栄村を伝える、地域をフィールドにしたふるさと学習に取り組んでいます。また、花壇づくり等地域の皆様とかかわって学ぶ活動も大切に考えています。地域の皆様にはいろいろな面でお力添えをいただいております。今後ともよろしくお願いいたします。

栄小CSへのご協力ありがとうございます

花壇クラブ、いっしょに学ぼう等コミュニティスクールへのご協力をいつもありがとうございます。今回「いっしょに遊ぼう」の会員を募集させていただいている。ご応募、ご協力のほどぜひよろしくお願ひいたします。

非違行為・わいせつ事案防止に向けて

学校では毎月職員研修の時間を取り、非違行為を防止するために職員一丸となって取り組んでおります。8月は、体罰・暴言防止について研修を深めました。児童や家庭、地域の信頼を損なわぬよう引き続き研修を重ねてまいります。

【文責：教頭 市川 勝】